

H28 年度第 2 回
佐治地域振興会議議事録

日 時：平成 28 年 5 月 25 日（水）午後 1 時 30 分～午後 3 時 10 分
場 所：佐治町総合支所 2 階第 1 会議室

[出席委員] 11 名

・上田喜清・福安修・栗谷幹雄・岡村裕司・谷上雄亮・井上洋美・井上明男・谷口由紀子
金田洋子・福安道則・杉本淑子

[事務局] 5 名

支所長 小谷繁喜、地域振興課長 竹本康宏、産業建設課長 川西仁志、
市民福祉課長 徳永努、地域振興課課長補佐 西尾宏

◎会議次第

(1) 協議事項

1. 住民異動者へのアンケート調査について
2. 地域振興会議での調査研究事業(視察)等について
(佐治地域が抱える課題や地域振興・活性化に向けての取組み等について)

(2) 報告・情報提供事項

1. 地域おこし協力隊の取り組み状況について (P11-P11)
2. 小さな拠点モデル促進支援事業の取り組みについて (P12-P15)
3. 若者定住等による集落活性化総合対策事業の取り組みについて (P16-P26)

(3) その他

次回の開催について

○議題

【協議事項】

1. 住民異動者へのアンケート調査について

資料により内容を竹本課長説明。転出、転居を対象に6月より新規実施。転入異動は従前より実施継続している。

(委員) アンケート(案)の意見欄が「具体的に」と記されている割に、実際に記載するにはあまりにもスペースが小さ過ぎるのではないかと？ 具体的意見は大切な情報。協力いただけるのであれば具体的に記載して頂けるように配慮してはどうか。チェック方式回答記載欄は小スペースでも回答できる。
→(事務局)：頂いたご意見は担当主管課へ伝えますが全面的に反映できない場合もあるのでご了解ください。

(委員) アンケート実施期間が短いのでは？ 回答率目標設定は持っているか？

→(事務局)：施策策定に活かせる季節異動を除いた平均的なデータ取得が可能と判断している。アンケートなので強制はできないが回答協力をお願いしてゆく。

(委員) 近隣の岩美町が転入移住で高く評価されていたと知り、地元振興協議会で日曜日に移住者の方にお話を伺いたいと日程調整を役場をお願いしたが、「原則として日曜日の対応は出来ない」と返答された。転入者が客商売で日曜日は仕事が忙しく紹介や仲介が出来ないからと聞いたが、高い評価を受けている割にその行政対応に違和感を覚えた。

2. 地域振興会議での調査研究事業(視察)等について

資料により小谷支所長が「報告・情報提供事項」の「2.小さな拠点モデル促進支援事業の取り組みについて」と併せて説明。

4月の振興会議の要請に沿って佐治地域の課題、地域振興・活性化に向けた取り組みを事務局で資料にまとめました。事務局で「優先度」「地域振興会議検討適正度」分類をしています。事務局案としては事業の取組を検討している「小さな拠点事業」の中で、地域の課題、振興、活性化に向けた課題整理と取組施策検討が必要であり、本件事業の先進事例の調査視察は佐治地域にとっても有益と考えています。次回以降に詳しい先進事例資料を準備しますので「佐治地域の課題、地域振興・活性化に向けた取り組み」の事務局資料と併せ、調査視察先を検討頂けたらと提案いたします。

(委員) 佐治地域の路線バス運行も福部や末恒地区のように無くなる可能性があると思う。そうになると高齢者はたちまち困難な状況となるので今からでも対応検討が必要。高齢化が進む住民の生活上の小さな困り事、例えば障子張替に住民同士で助け合える仕組みづくりも検討が必要。

(委員) 「小さな拠点」は人口減少の中で佐治に住む者がお互いに持ちつ持たれつ、助け合いの信頼関係を構築し、交通手段確保はもとより佐治に住み続けられる仕組み、互いの様々なニーズに対応できるボランティアセンターを含め佐治版何でも屋のような拠点を行政の支援も受けながら住民の手で創っていかねばならない。

(委員) 町内でボランティアに参加しているが参加者がとても少ない。活動でお弁当を届けるが声を掛けても返事がなく人気を感じられなくて心配になるお宅もある。見通しは明るい方がよいが、これから 10 年 20 年先に自分を含め今の佐治の住民が佐治で暮らし続けられるか不安を感じる時がある。具体的な助け合いの方策の検討や、生活現場に近い女性の意見を大切に小さなことに目を向け、皆で考えることで将来を明るく出来ればと思う

(委員) 「小さな拠点」は佐治の 4 振興区域ごとに整備されるイメージか。

→(事務局)：佐治の個々の課題に対してどのような仕組みを作るか検討する中で考え決めることとなります。

(委員) 民泊受け入れもどんどん増えている。町内施設は老朽化しているものも多いので観光課題として施設の快適性（綺麗さ清潔さ）の視点を入れる必要があると思う。

(委員) 高齢の方が免許証返納などで車の運転が出来ず交通手段に大変困っている現実がある。佐治の多くの課題が突き詰めると暗い話となってしまう。明るい展望が持てるようにどこからか、何か小さなことからプラス思考で取り組みを始めると物事が良い方向に動き始めるのではと期待している。

(委員) 個人希望として、若い人が活躍している、活躍する仕組みが出来ているような先進事例を視察したい。

(事務局)：「小さな拠点事業の取り組み」の趣旨目的に沿って視察調査研究を計画し、先進事例情報を手配してよろしいか。

(議長) 異議もないようですので事務局で手配願います。資料や住民さんの意見を把握して具体的視察研究場所は 8 月会議で更に検討したい。

【報告・情報提供事項】

1. 地域おこし協力隊の取り組み状況について

資料により竹本課長が活動状況報告

(委員) 「囲炉裏」の取り組みは継続されるか？

→(事務局)：実施日を毎月第 3 日曜日に変更して隊員を含む従前の運営団体で継続します

(委員) 話題の「どぶろく」を試飲した女性から「爽やかさ」「フルーティーな味」も試作品で是非取り組んでほしいとの意見があった。期待している。試飲会を重ねて女性の意見も聞いてよいものを作してほしい。

(委員) 今年度が協力隊員任期の最終年度となるが、隊員の今後はどうなるか。

→(事務局)：4 名の隊員全員が定住希望の意向であることを確認しています。隊員の意向を尊重して支援しますが、定住実現に関係機関団体の協力を頂きたい。

4 名のうち 2 名は採用時期の関係で本人が希望すれば平成 29 年度 5 月まで任期延長可能です。

2. 小さな拠点モデル促進支援事業の取り組みについて

協議事項 2 「地域振興会議での調査研究事業(視察)等について」の中で説明したため省略

3. 若者定住等による集落活性化総合対策事業の取り組みについて

資料により小谷支所長説明。佐治町中集落で事業実施を予定しておりますが、定住予定者2名のうち1名が都合で佐治移住が不可能な見込みとなったため、新たな移住者の目途を立てる中で事業に取り組むよう調整中です。

【その他】

(栗谷委員)：本年、天皇皇室献上梨の取り扱いを佐治で行う方向で調整中。ことが決まれば協力願いたい。

(事務局)：移動販売事業再開については、新たに加えた「見守り事業」予算を6月補正に計上。議会承認後スムーズに再開されるよう調整中です。

○その他

(事務局)：次回の7月会議は鳥取市南ブロックでの会議で調整中です。日程等が決まりましたら委員各位へご連絡させていただきます。